

第 1 日目 2019 年 9 月 14 日 (土)

午前の部 10:00~12:30

企画全体提案型テーマセッション

第 4 回全国家族調査 (NFRJ18) : 特徴と現状

オーガナイザー・司会 : 田淵六郎 (上智大学)

**【企画趣旨】**

全国家族調査 (NFRJ) は、1999 年の第 1 回に始まり、2009 年の第 3 回に至る 3 度の調査や、並行して行われた他の関連する調査の実施を通じて、計量的な家族研究の新しい時代を築き、多くの研究成果を世に問うてきました。2017 年度より、科学研究費プロジェクトとして第 4 回 NFRJ (NFRJ18) のための「NFRJ18 研究会」が組織され、3 つの研究班に分かれて研究活動を行うとともに、サテライト研究グループとして、NFRJ18 サンプルの一部に質的調査を実施する「質的調査研究会」と連携しながら調査実施に向けて活動に取り組んできました。2018 年大会では企画全体提案型テーマセッション「第 4 回全国家族調査 (NFRJ18) に向けて : 調査実施に向けた課題と展望」において、研究レビュー、モジュール化、調査設計、質的調査グループの活動状況などが報告されました。

本テーマセッションでは、2018 年度に実査が行われ、これからデータセットの整備と本格的な分析が進められる予定の NFRJ18 について、実査の状況と調査票の特徴といった調査にかんする主要な情報を学会員の方々と共有するとともに、現在実施に向けた準備が進んでいる「質的調査研究会」のメンバーからの報告を踏まえて、NFRJ18 の特徴と現状を総括したいと考えています。

セッションでは、田中慶子会員から NFRJ18 実施の概況に関する報告を、調査票の取りまとめを担当された保田時男会員から NFRJ18 調査票と調査データの構造と特徴に関する報告をいただいたうえで、「質的調査研究会」の木戸功会員および松木洋人会員から質的調査の進捗状況とサンプルの特徴や方法論的特徴にかんする報告をいただきます。これらを踏まえて、フロアの皆さまとともに、NFRJ18 の可能性をめぐって議論を深めていきたいと思いをします。